




AKAI
professional

MAX25

ユーザガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://akai-pro.jp/>

AKAI
professional

＜お問い合わせ＞

株式会社ニューマークジャパンコーポレーション

カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

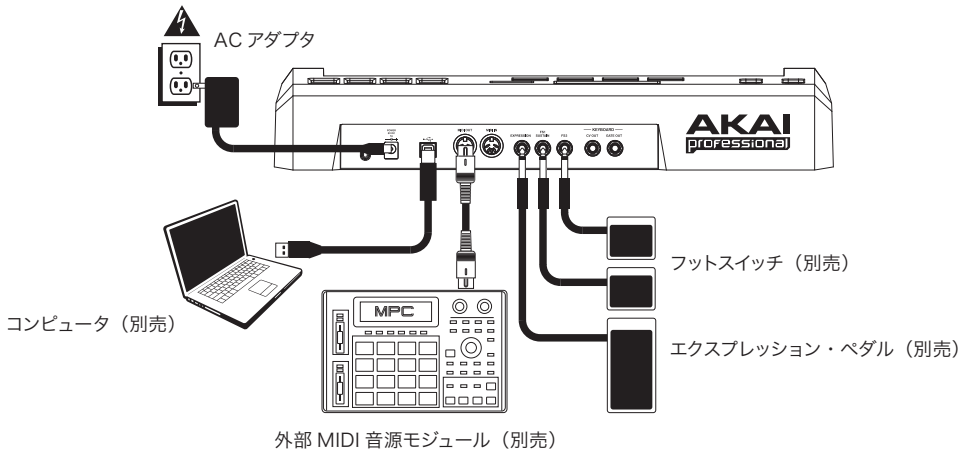
TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

ユーザガイド

同梱物

- ・ MAX25 本体
- ・ AC アダプタ
- ・ USB ケーブル
- ・ ソフトウェア CD (Vyzex 及び AKAI CONNECT ソフトウェア)
- ・ ソフトウェア DVD (Ableton Live Lite Akai Edition)
- ・ User Guide、Safety & Warranty Manual (英文)

クイックセットアップ / 接続図



1. インストール

1. ご使用いただくコンピュータの CD ドライブに付属 CD をセットします。
2. インストール:
 - ・ **Windows**: マイコンピュータをダブルクリックして CD をダブルクリックします。ディスク内容が表示されますので、Vyzex installer (.exe) ファイルをダブルクリックしてください。
 - ・ **Mac**: ディスクをダブルクリックします。ディスク内容が表示されますので、Vyzex.pkg ファイルをダブルクリックしてください。
3. 画面に表示される指示にしたがってソフトウェアのインストールを行います。
4. Vyzex エディタのインストールが完了しましたら、続けて AKAI CONNECT のインストールを行います。

ソフトウェアについては本書の「Vyzex and AKAI CONNECT」の章をご参照ください。

付属の Ableton Live Akai Edition のインストールを行う際は、付属 ableton live Lite Akai Edition の DVD-ROM を入れて、同様の手順でインストールを行ってください。

※ 重要: ご使用されてる DAW に立ち上げた VST インストルメントのパラメータをコントロールする場合は AKAI CONNECT の章をご参照ください。

2. 使ってみましょう

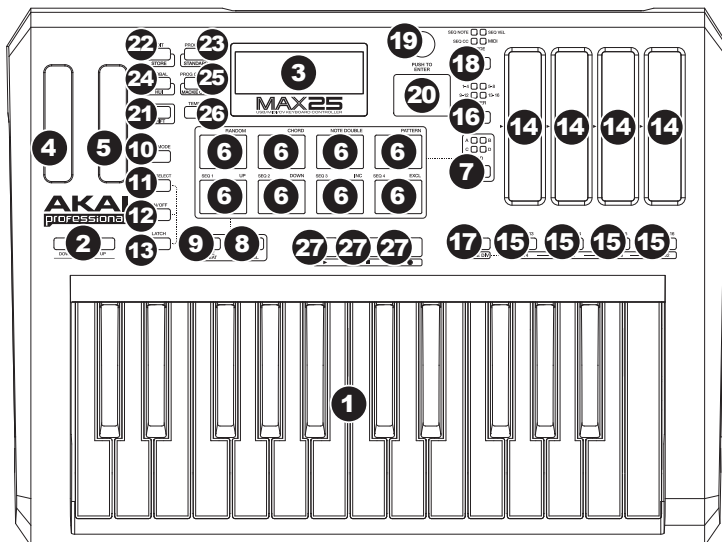
- MAX25 の USB ポートとお使いのコンピュータの USB ポートを接続します（デスクトップタイプのコンピュータに於いては、リアパネルの USB ポートを推奨）。MAX25 が起動します。
- コンピュータにて DAW ソフトウェアを起動します。
- MAX25 の VALUE ダイアルを回すことで、ディスプレイにプリセットを閲覧することができます。MAX25 と使用する DAW に対応したプリセットを選択後、VALUE ダイアルを押します。VALUE ダイアルを押すことで、読み込まれます。
- DAW 側ではコントロール・デバイスとして Akai MAX25 を選択します。
- この時点で DAW のコントロールを MAX25 で行えるようになります。もし MAX25 側の設定を変更する必要がある場合は、MODES の章をご参照ください。

その他、関連ファイルのダウンロードなどは MAX25 の製品ページでご確認ください。

<http://akai-pro.jp/products/max25>

機能紹介

トップパネル



- KEYBOARD** - ペロシティ対応の 25 鍵キーボードです。オクターブボタンを使って 10 オクターブの範囲で演奏することが可能です。
- OCTAVE DOWN/UP** - キーボードのレンジオクターブ単位で上下できます。上下で 4 段階ずつ行え、10 オクターブの範囲で演奏することが可能です。現在オクターブが下がっているか上がっているかの状態はボタンのライトで確認することができます。また、[APP MODE] を押しながらオクターブ・ボタンを押すことで、アルペジエータのオクターブレンジを設定できます（最大 3 オクターブ）。
- LCD** - このディスプレイは各メニューの操作を行うために使用されます。各パラメータの表示や設定の変更を行う際に使用します。
- PITCH BEND WHEEL** - ホイールを上げ下げすることで、MIDI ピッチベンド情報が送信されます。
- MODULATION WHEEL** - 連続的なコントロール・データが送信されます。（任意の CC ナンバを設定可能）
- PADS** - ソフトウェア上のドラムサウンドなどの演奏に使います。鍵盤とは異なり直感的に演奏が行えます。ペロシティ対応。
- PAD BANK BUTTONS** - この 4 つのボタンは PAD BANK A.B.C.D を切り替えます。バンクごとに 8 PAD となり、4 バンク合計で 32 個の異なる MIDI ノート情報が使えることになります。

8. **[FULL LEVEL]** – [FULL LEVEL] を押した時は、叩く強弱にかかわらず常に最大ベロシティでの演奏となります。
9. **[NOTE REPEAT]** – このボタンでノートリピート機能のオン・オフを切り替えます。ボタンを押しながらパッドを押し続けると TAP TEMPO のテンポと TIME-DIVISION のレイト（音符の単位）設定に応じて、押しているパッドの音が連打されます。ノートリピート機能は DAW や外部 MIDI 機器のクロックとシンクさせることが可能です。[NOTE REPEAT] ボタンのオン・オフの動作は「TOGGLE」と「MOMENTARY」から選択する事ができます。
10. **[ARP MODE]** – このボタンを押すとパッドが点灯してアルペジエータの現時点の設定が確認できます（それぞれのパッドの右上に記載のあるアルペジエータ設定と対応します）。このボタンを押しながら、他のパッドを押して設定を変更できます。
11. **[SEQ SELECT]** – このボタンを押すとシーケンスの現時点で選択されているパッドが点灯します（それぞれのパッドの右上に記載のあるシーケンスナンバー1～4に対応します）。このボタンを押しながら、他のパッドを押してシーケンスを変更できます。
12. **[ON/OFF]** – このボタンで内蔵アルペジエータもしくはシーケンサ機能のオン・オフが出来ます。アルペジエータ及びシーケンサの動作に関しては、TEMPO と TIME DIVISION の設定によってシーケンスとアルペジエータのテンポとレイト（音符の単位）が決定されます。アルペジエータとシーケンサは内部クロックもしくは外部クロックに同期します（ソフトウェア DAW もしくは MIDI 機器）。
13. **[LATCH]** – ラッチボタンはアルペジエータもしくはシーケンサで動作します。ARP MODE か SEQ SELECT のどちらかが点灯して現在どちらか確認できます。
アルペジエータ (ARP MODE) : アルペジエータがオンの時に [LATCH] ボタンを押すと鍵盤を押えた状態が保持され、鍵盤から指を離してもそれらのノートでアルペジオ演奏され続けます：
 - a. 鍵盤（和音）を押している間に他の鍵盤を押すと、押した鍵盤のノートがアルペジオの新しいノートとして新たに追加演奏されます。
 - b. 一度鍵盤を離し再度新たに鍵盤（和音）を押すと押した鍵盤のノートの組合せがアルペジエータの (LATCH) 機能によりアルペジオとして演奏されます。**シーケンサ (SEQ SELECT)** : シーケンサがオンの時に [LATCH] ボタンを押すと、シーケンサはトリガされて鍵盤から指を離しても演奏され続けます（鍵盤によるシーケンサのトリガはシーケンサ設定において、START/STOP 設定で NOTE ON/OFF がセットされている必要があります。この詳細についてはシーケンサの EDIT MODE をご覧ください）。
14. **TOUCH FADERS** – それぞれのタッチフェーダは DAW ソフトウェアや外部 MIDI 機器へ連続的なコントロール情報を送信することが可能となっています。それらのフェーダにはステップごとに MIDI ノート情報（ベロシティ対応）もセットすることが可能です。それぞれのフェーダの脇には LED が内蔵されており現在のパラメータ値を表示してくれます（LCD では数字による表示も行えます）。
15. **S スイッチ** – これらの LED ボタンには三つの機能があります。
 - a. [TIME DIV] ボタンを押した後、TIME DIVISION（音符の単位）を決定する時に使用します（各ボタンの下に印刷されています）。
 - b. シーケンスでアクティブなタッチフェーダを示します。
 - c. シーケンス再生中に現在再生しているステップが点灯して動きます。
16. **FADER/SWITCH BANK BUTTONS** – この 4 つのボタンによって、タッチフェーダを 16 ステップの内 4 ステップごとに切り替えることができます。
17. **[TIME DIV]** – このボタンはノートリピート機能とアルペジエータ、シーケンスの TIME DIVISION（音符の単位）を決定するときに使用します。[TIME DIV] ボタンを押して点灯させた状態で S-SWITCHES で選択します。
18. **[MODE]** – このボタンでタッチフェーダのモードを切り替えます。
 - ・ SEQ NOTE（シーケンス・ノート・モード）– このモードではタッチフェーダの位置によって、各ステップのノート情報の音程が決定されます。
 - ・ SEQ VEL（シーケンス・ベロシティ・モード）このモードではタッチフェーダの位置によって、各ステップのノート情報のベロシティの値が決定されます。
 - ・ MIDI（MIDI モード）– このモードではタッチフェーダによって MIDI CC メッセージを送信します。
19. **VALUE DIAL** – このダイヤルを使用して、プリセットの選択や、パラメータ値の増減そして設定などを行います。またこのダイヤルは押すことで、[ENTER] ボタンの役割も兼ねます。

20. **CURSOR BUTTONS** – LCD 内に表示されるメニューを切り替えたり、各フィールドを移動するために使います。
21. **[SHIFT]** – このボタンを押しながら上のボタン (EDIT / PROGRAM / GLOBAL / PROG CHANGE) を押すことで、副機能 (STORE / STANDARD / HUI / MACKIE CTRL) にアクセスできます。
22. **[EDIT] / [STORE]** – このボタンは EDIT モードを呼び出します。それぞれのプログラムでキーボード、パッド、ボタン、フェーダの設定が行えます。[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと現在のプログラムの保存が行えます。
23. **[PROGRAM] / [STANDARD]** – このボタンは PROGRAM モードを呼び出します。このモードにおいて異なるプログラムを選択して呼び出すことが可能です。[SHIFT] ボタンを押しながら、このボタンを押すことで最後に使用したプログラムを呼び出せます。
24. **[GLOBAL] / [HUI]** – このボタンは GLOBAL モードを呼び出します。MIDI リセットコマンドやシステム全般に関する設定を行います。また、[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと HUI プログラムを選択できます。
25. **[PROGRAM CHANGE] / [MACKIE CONTROL]** – このボタンを押すとプログラムチェンジモードに入ります。プログラムチェンジ情報やバンクセレクト情報を送信することができます。[SHIFT] ボタンを押しながらこのボタンを押すと Mackie Control プログラムを選択できます。
26. **[TEMPO]** – 本機のクロック設定が Internal の場合、このボタンは点滅してアルペジエータ、シーケンサやノートリピートのテンポを示します。何回かこのボタンを押すことでテンポを指定することができます。もしプログラムがロードされた場合は、そのプログラムに保存されたテンポとなります (プログラムのテンポは EDIT モードでも設定が行えます、またクロック設定が External (外部シンク) の場合はこのボタンを押しても動作しません)。
27. **トランスポート・コントロール** – これらの 3 個のボタンはトランスポート・コントロール・コマンドを送信するためのものです。このボタンは MMC (MIDI マシンコントロール)、MMC/MIDI SysEX、MIDI Real Time またはアサインした MIDI CC 情報の送信方法を設定でき、また Mackie Control や HUI モード、Pro Tools Express のトランスポート・コントロール・メッセージも送信できます。

トップパネル

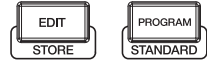
1. **POWER INPUT** – 付属 AC アダプタを接続します (6V DC – 1A)。CV OUT と GATE OUT を使用する際は、必ず AC アダプタで動作させてください。また、タッチフェーダの表示は、AC アダプタで動作させた場合にフル点灯し、USB バスパワーで駆動する場合には、現在の位置の LED のみ点灯します。
2. **DC レストレイント** – 電源ケーブルが不慮の事故により抜けないようにするためのものです。
3. **ケンジントン・ロック** – 盗難防止用のケンジントン・ロック取り付け部分です。
4. **USB ポート** – MAX25 とコンピュータを USB ケーブルで接続するための端子です。コンピュータより USB ケーブル経由で電源が供給されます。MAX25 はクラスコンプライアント・デバイスですので、特別なドライバをコンピュータにインストールすることなく、プラグ&プレイでご使用になれます。
5. **MIDI OUT** – MIDI ケーブルを接続して MIDI 信号を送信するための端子です。
6. **MIDI IN** – MIDI ケーブルを接続し MIDI 信号を受信するための端子です。
7. **EXPRESSION PEDAL INPUT** – 1/4" TRS タイプのエクスペッションペダル (別売) を接続する端子です。
8. **FOOTSWITCH INPUTS** – 別売のフットスイッチ (1/4" TS タイプ) を接続する端子です。もしサステインペダルを接続する場合は FS1/SUSTAIN へ接続してください (電源投入時にフットスイッチのタイプを自動認識します、ノーマルオープン/クローズの両タイプご使用いただけます)。
9. **CV OUT** – 1/4" TS ケーブル (別売) を使って、MAX25 のコントロールボルトテージ (CV) データ (0-5V、1V/octave) を外部のシンセサイザやシーケンサなどの CV IN へ接続する端子です。GLOBAL モードにおいて送信されるデータの設定が行えます。詳細については CV の章をご覧ください。
10. **GATE OUT** – 1/4" TS ケーブル (別売) を使って、MAX25 のゲート (トリガ) データを外部のシンセサイザやシーケンサの GATE IN に接続する端子です。GLOBAL モードにおいて送信されるデータの設定が行えます。



注意 : CV OUT と GATE OUT を使用する際は、MAX25 は必ず AC アダプタで動作させてください。

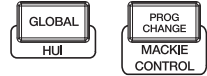
モード

MAX25 には 4 つのモードがあります。各モードボタンを押すことによりアクセスすることができます。



各モードのページ内の操作について：

- ・ 現時点でディスプレイに表示されている各設定を移動する場合は、上下のカーソルボタンを使って行います。
- ・ 他のページへ移動したい場合は、左右のカーソルボタンを使って行います。
- ・ 現時点で選択されている設定を変更する場合は VALUE DIAL を回して行います。



以下は各モードの簡単な説明となります。詳細については各章をご覧ください。

[EDIT] → **エディットモード**：各種設定を行うことができます。エディットモードは用途に合わせたセットアップにカスタマイズを行うための強力なツールです。このモードでキーボード、パッド、タッチフェーダそしてその他各種機能の設定を変更することが可能です。例えば、タッチフェーダの可変レンジや送信される MIDI データ、また送信 MIDI チャンネルをキーボードとパッドを個別のチャンネルに設定するなど、様々な設定を行えます（各種パラメータについてはエディットモードパラメータセクションをご覧ください）。

[PROGRAM] → **プログラムモード**：本体に保存されているプログラムの読み込みを行います。ここでいうプログラムとはキーボードやパッド、タッチフェーダやその他各種機能の設定の集まりとなります。つまりどのように動作させるか（それらの動作はエディットモードで設定し保存する）プログラムを使って異なる設定を保存しておくことができます。それらのプログラムはいつでも状況に応じてすばやく読み込むことが可能です。

[GLOBAL] → **グローバルモード**：MAX25 全体に関わる設定として、LCD スクリーンの明るさの設定を行ったり、MIDI コモンチャンネル、MIDI クロック設定、パッド及びキーボードのペロシティアクティブと感度などグローバルパラメータの設定を行います。

[PROG CHANGE] → **プログラムチェンジモード**：様々なプログラムチェンジメッセージの送信を行います。DAW や外部 MIDI 機器の音色のプログラムやバンクを切り替えることができます。

エディット・モード

1. [EDIT] ボタンを押します。
2. 次に、変更したい対象のコントローラ（キーボード、パッド、タッチフェーダなど）を動かします。画面に変更したいコントローラの詳細な情報が表示されます。
3. エディットモードでのそれぞれのページでは：
 - ・ 現在ページ上のパラメータ間はカーソル上下ボタンで移動できます。
 - ・ 複数のページがある場合は（「Pg1」、「Pg2」といった表示が点灯している際）、カーソル左右ボタンでページ間を移動します。
 - ・ 現在選択されている数値／設定はバリューダイヤルを回すことで変更できます。
4. さらにエディットを行う場合はステップ 2～3 を繰り返します。

重要：プログラムモードで新しい設定を保存するには [SHIFT] ボタンと [STORE] を同時に押すことで行えます。設定の変更を行って、保存をせずにプログラムの読み込みを行いますと変更された設定は無効となります。

変更可能なパラメータの概要につきましては、巻末のエディットモードパラメータ・リストをご覧ください。

キーボード

MIDI Channel : 設定した MIDI チャンネルでキーボードの演奏情報が送信されます (Common、USB A1-A16、USB B1-B16)。

Octave : 鍵盤をオクターブ単位でシフトすることができます (上下 4 オクターブ)。

Transpose : キーボードを半音単位での移調を行います (上下 36 半音)。

MIDI to DIN : MIDI データが MIDI OUT 端子へ出力されるかどうかを決定します。この設定に関係なく MIDI データは USB 端子へは送信されます。

Aftertouch : アフタータッチのオン・オフの設定を行います。

パッド

Type : 送信されるイベントの種類を選択します (Note、Program Change、Program Bank)。

MIDI Channel : 送信される MIDI チャンネルを決定します (Common、USB A1-A16、USB B1-B16)。

Note : Type に Note が選択されている場合、ノートナンバを割り当てます。

Aft : Type に Note が選択されている場合、このアフタータッチ設定を決めることができます (Off、Ch (チャンネル・アフタータッチ)、Poly (Poly アフタータッチ))。

Program Number / Pgm : Type に Program Change もしくは Program Bank が選択されている場合、このプログラムナンバを決めることができます。数値は 000~127 の範囲で設定が行えます。

Msb / Lsb : Type に Program Change もしくは Program Bank が選択されている場合、MSB (Most Significant Bit) と LSB (Least Significant Bit) を決めることができます。数値は 000~127 の範囲で設定が行えます。

MIDI to DIN : MIDI データが MIDI OUT へ送信されるかどうかの設定を行います (On、Off)。但し、この設定にかかわらず USB へは MIDI データは送信されます。

Note Mode : Type に Note が選択されている場合、Toggle もしくは Momentary のどちらかのモードに設定が行えます。

タッチフェーダ

Type : 送信されるイベントの種類を選択します。Aft (アフタータッチ)、MIDI CC、Inc/Dec1 (Increment / Decrement、モード 1)、Inc/Dec2 (Increment/Decrement、モード 2)、Mackie、HUI のいずれかを選択します。

MIDI Channel : 送信される MIDI チャンネルを決定します (Common、USB A1-A16、USB B1-B16)。

CC Number : Type に MIDI CC が選択されている場合、コントロールチェンジナンバーの設定が行えます。数値は 000~127 の範囲で設定が行えます。

MIDI to DIN : MIDI データが MIDI OUT へ送信されるかどうかの設定を行います (On、Off)。但し、この設定にかかわらず USB へは MIDI データは送信されます。

Mode : ここではタッチした際にどのように動作するかの設定を行います :

- ・ **Absolute (絶対値)** : フェーダのある位置にタッチすることで、即座にその値にジャンプし保持されます。このモードは Type をアフタータッチもしくは MIDI CC に設定した場合のみ有効となります。
- ・ **Relative (相対値)** : フェーダに沿って上下に指をスライドさせた際に設定された値が増減します (実際のタッチしているフェーダの位置は関係なく)。
- ・ **Relative2 (相対値 2)** : このモードは、Relative と同様の動きとなりますが、高解像な処理を行われるため、より正確な調整が行えます。TYPE に Aftertouch もしくは MIDI CC が設定されている際にこのモードが選択できます。また Relative モードの際も [SHIFT] ボタンを押しながらフェーダに沿って上下に動かすことでも Relative2 モードとして動作します。

Min / Max : Aftertouch が TYPE に選択されている場合、最小と最大の値を設定することができます (最小に設定した値が、最大に設定した値よりも大きい場合はフェーダの動作が逆転します)。

Msb / Lsb : Inc/Dec1 が TYPE に選択されている場合、MSB (Most Significant Bit) と LSB (Least Significant Bit) を設定することができます (000~127)。

Value :

- ・ Inc/Dec1 が TYPE に選択されている場合、増加 (CC#96) もしくは減少 (CC#97) によって値が送信されます (000~127)。
- ・ Mackie もしくは HUI が TYPE に選択されている場合、フェーダが何のプロトコルを使用してコントロールを行うかを設定します。Fader 1-8、V-pot 1-8、Master Level (Mackie のみ)。

Sスイッチ

Type : 送信されるイベントの種類を設定します (Note、CC#000-127、ProgramChange、ProgramBank、MackieControl、HUI)。

MIDI Channel : 送信される MIDI チャンネルを決定します (Common、USB A1-A16、USB B1-B16)。

Note# : Type に Note が選択されている場合、ノートナンバーを割り当てます。

Velo : Type に Note が選択されている場合、ベロシティを割り当てます (000~127)。

Mode : Type に Note、CC、Mackie、もしくは HUI が選択されている場合、Toggle もしくは Momentary どちらかのモードが選択できます。

Invert : Type に CC が選択されている場合、ボタンがオフになった際に 000 の値、オンになった際、127 が送信されます。これを逆転させて使用したい場合に On に設定します。

Program Number / Pgm : Type に PrgChng (プログラムチェンジ) もしくは PrgBank (プログラムバンク) が選択されている場合、プログラムナンバーを設定します (000~127)。

Msb / Lsb : Type に PrgBank (プログラムバンク) が選択されている場合、MSB (Most Significant Bit) と LSB (Least Significant Bit) を設定します (000~127)。

MIDI to DIN : MIDI データが MIDI OUT へ送信されるかどうかの設定を行います (On, Off)。但し、この設定にかかわらず USB へは MIDI データは送信されます。

Value :

- Inc/Dec1 が TYPE に選択されている場合、増加 (CC#96) もしくは減少 (CC#97) によって値が送信されます (000~127)。
- Mackie が TYPE に選択されている場合、S スイッチがこのプロトコル上でコントロールするものを決定します (Record-Ready 1-8、Solo 1-8、Mute 1-8、Select 1-8、VPot Select 1-8、VPot Assign : Track、VPot Assign : Send、VPot Assign : Pan、VPot Assign : Plugin、VPot Assign : EQ、VPot Assign : Instrument、Fader Bank L or R、Fader Channel L or R、Flip、Global View、Display : Name、Display : SMPTE、Function Select F1-F8、Global View : MIDI、Global View : Inputs、Global View : Audio Tracks、Global View : Audio Instrument、Global View : Aux、Global View : Buses、Global View : Outputs、Global View : User、Shift、Option、Control、Command、Read、Write、Trim、Touch、Latch、Group、Save、Undo、Cancel、Enter、Marker、Nudge、Cycle、Drop、Replace、Click、Solo、Rewind、Fast Forward、Stop、Play、Record、Up、Down、Left、Right、Zoom、Scrub、User A、User B、Touch 1-8、Touch M、SMPTE、Beats、Rude Solo、M 116、M 117、Relay)。
- HUI が TYPE に選択されている場合、S スイッチがこのプロトコル上でコントロールするものを決定します (Touch 1-8、Select 1-8、Mute 1-8、Solo 1-8、Auto 1-8、Record-Ready 1-8、Insert 1-8、Record 1-8、HUI 065-112、Rewind、Fast Forward、Stop、Play、Record、HUI 118-128)。

ピッチ・ホイール

MIDI Channel : 送信される MIDI チャンネルを決定します (Common、USB A1-A16、USB B1-B16)。

MIDI to DIN : MIDI データが MIDI OUT へ送信されるかどうかの設定を行います (On, Off)。但し、この設定にかかわらず USB へは MIDI データは送信されます。

CV Pitchbend : CV OUT が Pbind に設定されている場合、CV OUT のピッチベンド・レンジを決定します (00~99)。

モジュレーション・ホイール

MIDI Channel : 送信される MIDI チャンネルを決定します (Common、USB A1-A16、USB B1-B16)。

MIDI CC : コントロールチェンジ番号を設定します (000~127)。

Max / Min : 最小と最大の値を設定することができます (最小に設定した値が、最大に設定した値よりも大きい場合はフェーダーの動作が逆転します)。

MIDI to DIN : MIDI データが MIDI OUT へ送信されるかどうかの設定を行います (On, Off)。但し、この設定にかかわらず USB へは MIDI データは送信されます。

フットスイッチ

Type : 送信されるイベントの種類を設定します (CC#000-127、Tap Tempo、Play、Rec (Record)、Stop、Play/Stop、Arp/Seq (Arpeggiator/Sequencer)、Sustain)。

MIDI Channel : 送信される MIDI チャンネルを決定します (Common、USB A1-A16、USB B1-B16)。

MIDI CC : Type に MIDI CC が選択されている場合、コントロールチェンジ番号を設定します (001~127)。

Mode : Toggle もしくは Momentary のどちらかのモードを設定します。

MIDI to DIN : MIDI データが MIDI OUT へ送信されるかどうかの設定を行います (On、Off)。但し、この設定にかかわらず USB へは MIDI データは送信されます。

エクスプレッション・ペダル

MIDI Channel : 送信される MIDI チャンネルを決定します (Common、USB A1-A16、USB B1-B16)。

MIDI CC : コントロールチェンジ番号を設定します (000~127)。

Max / Min : 最小と最大の値を設定することができます (最小に設定した値が、最大に設定した値よりも大きい場合はフェーダーの動作が逆転します)。

MIDI to DIN : MIDI データが MIDI OUT へ送信されるかどうかの設定を行います (On、Off)。但し、この設定にかかわらず USB へは MIDI データは送信されます。

アルペジエータ

Type : アルペジエータの種類を選択します :

- **Note Double** : それぞれのノートに二回ずつ発音します。以下の設定で Chord 以外で選択することができます。
- **Up** : ノートの一番下から一番上のノートへ向けて発音します (上昇のみ)。
- **Down** : ノートの一番上から一番下のノートへ向けて発音します (下降のみ)。
- **Incl (Inclusive)** : ノートの一番下から一番上へ向けて発音した後、再度一番上のノートから折り返し一番し下まで発音を繰り返します (上昇折り返し + 再上下音有り)。
- **Excl (Exclusive)** : ノートの一番下から一番上へ向けて発音した後、そのまま折り返しを繰り返します (上昇折り返し + 最上下音の再発音無し)。
- **Rand (Random)** : 押えているノートをランダムな順番で発音します。
- **Chord** : 押えているノートをコードとして発音します。

Range : アルペジエータの有効範囲をオクターブ単位で設定できます (0 ~ +3)。

Gate : アルペジエータによって発音されるノートの長さを設定することができます (1~99%)。

Swing : アルペジエータによる演奏のグルーブをスウィング (ハネるリズムに) させることができます (50%~75%)。

Pattern : アルペジエータがパターンを使用するかどうかを設定します (On、Off)。

Length : アルペジエータ・パターンのステップ数 (1~16)。

Pattern Indicator : LCD の下のラインにアルペジエータによってノートが発音されるリズムが「*」マークで表示されます。カーソルを「*」のパターンインジケータに合わせて、ダイヤルを回して、位置を動かしていきます。発音しない休符にしたい場合は、ダイヤルを押して、「_」に変更します。

ノートリピート

Time Division : ノートリピート機能とアルペジエータのレイト（音符の単位）の設定をします。1/4、1/4T、1/8、1/8T、1/16、1/16T、1/32、1/32T（「T」は三連符を示します）。

Mode : ノートリピート機能のオン/オフの動作をトグル (Toggle) もしくはモーメンタリィ (Momentary) で選択します。

Gate : 繰り返し発音される際のノート 1 つ分の長さを決定します (1~99%)。

Swing : ノートリピート機能によるグルーブを、ハネ気味にさせる (スイングさせる) ことができます (50%~75%)。

テンポ

BPM : テンポ (拍数/分) が表示されます (30~300)。

Time Division : ノートリピート機能とアルペジエータのレイト（音符の単位）の設定をします。1/4、1/4T、1/8、1/8T、1/16、1/16T、1/32、1/32T（「T」は三連符を示します）。

Gate : ノートリピートによって発音されるノートの長さを設定することができます (1~99%)。実際の発音の長さは Time Division 設定に依存します。

Swing : このパラメータでノートリピート機能によるグルーブを、ハネ気味にさせる (スイングさせる) ことができます (50%~75%)。

シーケンサ

[SEQ SELECT] : このモードでは、LCD のトップに表示されている特定のシーケンス (1~4) に関連の設定を始める2ページ (Pg1 と Pg2) で行います。それ以降のページではシーケンスの全般的な設定となります。

Steps : シーケンサで使われるステップ数を設定します (01-32)。

MIDI Channel : 送信される MIDI チャンネルを決定します (Common、USB A1-A16、USB B1-B16)。

MIDI to DIN : MIDI データが MIDI OUT へ送信されるかどうかの設定を行います (On、Off)。但し、この設定にかかわらず USB へは MIDI データは送信されます。

Keyshift : キーシフトが On に設定されている場合、シーケンサを ON にして演奏がされている状態にして、キーボードを使ってリアルタイムにトランスポーズさせることができます。キーボードを押している間だけトランスポーズされますので、もしその状態を維持させたい場合は [LATCH] ボタンを On にします。

Default Key : シーケンスのデフォルトのキーを設定します。

Scale : シーケンサのスケールを設定します。Chromatic 以外のスケールの選択がされている場合、フェーダではスケールで有効なノートだけが選択されます。これによって意図的に調に合わないノートが除外されます。選択可能なスケールは以下となります。

1. Chromatic、2. Major、3. Dorian、4. Phrygian、5. Lydian、6. Mixolydian、7. Minor、8. Locrian、9. Minor Melo (Melodic Minor)、10. Minor Harm (Harmonic Minor)、11. Pent aMajor (Major Pentatonic)、12. PentaMinor (Minor Pentatonic)、13. Blues、14. AlteredDom (Altered Dominant)、15. DimWhlHalf (Diminished Whole-Half-Step)、16. Whole-Tone

Start / Stop : シーケンサのスタート/ストップをどのように行うかの設定を行います。

- ・ **Note On / Note Off** : [SEQ ON/OFF] ボタンを On にした状態で、キーボードを使って行います。Keyshift 設定が On の場合はキーボードでのトランスポーズも行えます。
- ・ **Seq On/Off** : [SEQ ON/OFF] ボタンを使って行います。
- ・ **Play / Stop** : TRANSPORT CONTROL BUTTONS を使って行います。シーケンサをプレイしたい場合は Play (▶) ボタンを押し、シーケンサをストップしたい場合は Stop (■) ボタンを押します。

[MODE] > [SEQ NOTE] または [SEQ VEL] : シーケンスの各ステップごとの NOTE パラメータです。カーソルを使って LCD 内を移動し、[VALUE] ダイアルを使って変更します。

Step : ステップ番号

Note : そのステップで発音されるノートを設定します。またタッチフェーダによるノートの変更も行えます。

Velo : そのステップで演奏されるノートのベロシティ値を設定します。

[SEQ CC] : シーケンスの各ステップごとの CC (コントロール・チェンジ) パラメータです。カーソルを使って LCD 内を移動し、[VALUE] ダイアルを使って変更します。

Step : ステップ番号

Value : そのステップで送信される値を設定します。

CC Number : 送信される MIDI コントロールチェンジを設定します。

Ramp : 各ステップの CC 値を補間します。

トランスポート・コントロール

Type : 送信されるイベントのタイプを設定します (MMC、MMC/MIDI、MIDI Real Time、MIDI CC、Mackie、HUI)。

MIDI to DIN : MIDI データが MIDI OUT へ送信されるかどうかの設定を行います (On、Off)。但し、この設定にかかわらず USB へは MIDI データは送信されます。

プログラム・モード

プログラムモードではプログラムの選択とロードを行います。MAX25 には一般的な DAW やプラグイン用いくつかのデフォルト・プログラムをもっています、また用途に合わせて、プログラムを編集して保存しておくこともできます。

プログラムの選択とロード :

1. [PROGRAM] を押します (通常 MAX25 は電源投入時、プログラムモードになってます)。LCD には現在のプログラムの名前が表示されます (点滅状態)。
2. [VALUE] ダイアルを回して、プログラムの選択を行います。
3. [VALUE] ダイアルを押して、ロードを行います。

Notes :

- ・ プログラム・モードでシーケンスのロードを行うこともできます。行う場合は、カーソル上下ボタンを使って、Sequence フィールドにカーソルを合わせてから [VALUE] ダイアルで行います。
- ・ プログラム・ボードでトランスポーズを行うこともできます。行う場合は、OCTAVE DOWN / UP ボタンを両方押しながらキーボード上の鍵盤を押します (押した鍵盤のノートがキーボード中央の C の位置になります)。

プログラムの編集について : EDIT MODE の章をご参照ください。

現在の設定をプログラムとして保存するには：

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [STORE] ボタンを押します。LCD の上部に「Store Program」と表示されます。
2. VALUE] ダイアルを回して、保存先のプログラムの選択を行います（デフォルトは現在選択されているプログラムが表示されます）。
3. プログラム名を変更するには、カーソル上下ボタンを使って Name フィールドにカーソルを合わせます。カーソルが合っている先頭の文字は点滅します。
4. VALUE ダイアルを回して文字や数字を選択することができます。カーソル左右ボタンで変更したい文字を選択しながら行います。
5. プログラムの保存の準備が整いましたら、VALUE ダイアルを押すことで保存されます。もし保存をキャンセルしたい場合は他のモードボタンを押します。

グローバル・モード

1. [GLOBAL] ボタンを押すことでグローバルモードに入ります。
2. それぞれのページにおいて：
 - ・ カーソルボタン上下ボタンを使って、現在表示されているページ上の各パラメータを選択します。
 - ・ カーソルボタン左右ボタンを使って、それぞれのページ間を移動します。
 - ・ VALUE ダイアルを使って、現在選択されているパラメータの設定や値の変更を行います（パラメータの設定や値の変更した際、特に VALUE ダイアルを押して、エンターする必要はありません）。

重要：グローバル・モードの設定の保存については UTILITY の章をご覧ください。

各コントローラの編集可能なパラメータについての仕様情報に関しては以下の章をご覧ください。

MIDIコモン・チャンネル

Common Chnl(Channel)：MIDI コモン・チャンネルの設定を行います(USB A1～A16、USB B1～B16)。

Input Chnl (Channel)：外部 MIDI 機器からの MIDI データを受信する際の MIDI チャンネルを設定します (Common、USB A1～A16、USB B1～B16)。

ノート・ディスプレイ設定

Type：ノート情報が LCD にどのように表示させるかの設定を行います。value の選択時は (例：C2、F#3 など)、Number を選択時は (例：36、54 など) のように表示されます。

キーボード設定

Curve：キーボードのペロシティカーブの設定を行います。選択可能なカーブの種類は Linear (リニア)、EXP1 (エクスポネンシャル1)、EXP2 (エクスポネンシャル2)。

Sensitivity：キーボード全体のペロシティに対する感度の設定を行います。01～10 の 10 段階で感度の設定を行え、この数値が高いと感度が高くなり最大ペロシティが出やすくなります。

パッド設定

Pad Threshold：パッドが反応する「叩く強さの最小値」を設定します。例えばパッド演奏中に意図しない「ゴーストノート」が鳴ってしまう場合などはこの値を大きく設定してみましょう。逆にパッドの反応を効きやすくしたい場合はこの数値を低く設定します。

Velocity Curve：パッドのペロシティカーブの設定を行います。設定可能なカーブの種類は Linear (リニア)、EXP1 (エクスポネンシャル1)、EXP2 (エクスポネンシャル2)、Log1 (ログ1)、Log2 (ログ1)。

Velocity Sense (Sensitivity)：パッド全体のペロシティに対する感度の設定を行います。01～10 の 10 段階で感度の設定を行え、この数値が高いと感度が高くなり最大ペロシティが出やすくなります。

テンポ

Tempo : グローバルテンポを拍数/分で設定します。本機の MIDI クロック設定が Internal に設定されている場合にアルペジエータやシーケンサ、ノートリピートの速さはこのテンポに準じた速さで動作します (30~300)。

Tap Average : TEMPO ボタンをタップした際、テンポが算出されるまでのタップ回数を設定します (2~4)。

Tempo LED : 本機の MIDI クロック設定が Internal に設定されている場合に TEMPO ボタンがテンポに合わせて点滅する動作のオン/オフ設定を行います。

クロック

Source : アルペジエータやノートリピート、シーケンサを他のデバイスと同期させて使用する際にこの設定を行います。

Internal : 内部クロックを使用します。他の同期デバイスを本機のクロックに同期させる際に設定します。

External : 本機を MIDI クロックのスレーブにする際に設定します。

※「External」を設定している場合は、TEMPO ボタンによるテンポ設定は無効となります。

CV/GATE設定

CV/Gate Out : どのようなデータが CV OUT と GATE OUT から出力させるかの設定を行います :

- **Key/Seq** : キーボード、アルペジエータ及びシーケンサーからの演奏情報を送信します (1V / オクターブ (一番下の C は 0V))。
- **Pads** : パッドからの演奏情報を送信します。パッドに割り当てられているノートが送信されます。
- **Common (Channel)** : USB による接続が行われている場合、コモン・チャンネルに送信されているデータが送信されます。もし USB による接続が行われていない場合は MIDI IN に入力されたコモンチャンネルの演奏情報が送信されます。
- **USB 1A - 16A, 1B - 16B** : USB による接続が行われている場合、設定しているチャンネルに送信されているデータが送信されます。もし USB による接続が行われていない場合は MIDI IN に入力された設定しているチャンネルの演奏情報が送信されます。
- **Seq** : シーケンサから「ノート・オン / オフ」イベントが送信されます。
- **Seq CC** : シーケンサから「MIDI CC」イベントが CV OUT に送信され、シーケンサから「ノート・オン / オフ」イベントが GATE OUT に送信されます。
- **Pbend** : 「ピッチベンド」イベントが CV OUT に送信され、シーケンサから「ノート・オン / オフ」イベントが GATE OUT に送信されます。
- **Modwhl** : 「モジュレーション・ホイール」イベントが CV OUT に送信され、シーケンサから「ノート・オン / オフ」イベントが GATE OUT に送信されます。
- **ExpPedl** : 接続したエクスプレッション・ペダルによる「MIDI CC」イベントが CV OUT に送信され、シーケンサから「ノート・オン / オフ」イベントが GATE OUT に送信されます。
- **Fadr1CC - 8CC** : 選択したフェーダからの「MIDI CC」イベントが CV OUT に送信され、シーケンサから「ノート・オン / オフ」イベントが GATE OUT に送信されます。

SysEx

Send Program : SysEx (システム・エクスクルーシブ) でプログラムデータの送信を行います。送信はプログラムの番号を指定して個別に行うやり方と、ALL を選択して、一度に全てのプログラムの送信を行う方法がございます。VALUE ダイヤルを押すことで送信を開始することができます。

ユーティリティ

Contrast : LCD のコントラストの調整を行います (0~99)。

グローバル設定の保存

このページで、VALUE ダイアルを押すことで、本機のメモリにグローバル設定の保存が行えます。

OS

このページで、本機のおペレーティング・システム情報が表示されます。

プログラムチェンジ・モード

VALUE ダイアルを使ってプログラムチェンジ情報を送信することができます。

プログラムチェンジ

MIDI Channel : 送信される MIDI チャンネルを決定します (Common、USB A1-A16、USB B1-B16)。

Program Number : 送信を行うプログラムナンバの設定を行います (000~127)。尚、使用可能なプログラムナンバについては、送信先の外部音源モジュールやソフトウェアの資料をご参照ください。

MIDI to DIN : MIDI データが MIDI OUT へ送信されるかどうかの設定を行います (On、Off)。但し、この設定にかかわらず USB へは MIDI データは送信されます。

プログラムバンク

MIDI Channel : 送信される MIDI チャンネルを決定します (Common、USB A1-A16、USB B1-B16)。

Program Number : 送信を行うプログラムナンバの設定を行います。(000 - 127) 使用可能なプログラムナンバについては、送信先の外部音源モジュールやソフトウェアの資料をご参照ください。

Msb / Lsb : Type に Program Change もしくは Program Bank が選択されている場合、MSB (Most Significant Bit) と LSB (Least Significant Bit) を決めることができます。数値は 000~127 の範囲で設定が行えます。

MIDI to DIN : MIDI データが MIDI OUT へ送信されるかどうかの設定を行います (On、Off)。但し、この設定にかかわらず USB へは MIDI データは送信されます。

MACKIE CONTROL及びHUI規格プロトコル

Mackie Control 及び HUI (Human User Interface) 規格を採用している DAW ともご使用いただけます。プリセットプログラムに Mackie Control と HUI 用のプログラムも用意されております。

Mackie Control と HUI プログラムの選択と読み込み :

1. [PROGRAM] ボタンを押します (電源投入時はプログラムモードで起動します)。LCD の表示ではプログラム名が点滅します。
2. VALUE ダイアルを回してプログラムの選択を行います。
3. 目的のプログラムを表示させて、VALUE ダイアルを押すことで読み込みされます。

重要 :

- ・ Mackie Control もしくは HUI 規格の外部機器で使用の際は、DAW 側で受信コマンドの設定を行う必要がございます。
- ・ Pro Tools をお使いの場合は、Pro Tools プログラムを選択してください。
- ・ Pro Tools Express をお使いの場合は、PTEX プログラムを選択してください。

アルペジエータ

アルペジエータを有効にするには：

1. [ARP MODE] ボタンを押して、点灯させます。
2. [ON/OFF] ボタンを押して、点灯させます（パッドの右横にあります）。
3. キーボードにてコードを押えてみましょう。

アルペジエータをラッチさせる：

アルペジエータをオンにするとラッチ機能も使用可能になります。[LATCH] ボタンを押してオンにすると鍵盤を離しても音が鳴り続けます：

- a. 鍵盤（和音）を押している間に他の鍵盤を押すと押した鍵盤のノートがアルペジオの新しいノートとして新たに追加演奏されます。
- b. 一度鍵盤を離し再度新たに鍵盤（和音）を押すと押した鍵盤のノートの組合せがアルペジエータの（LATCH）機能によりアルペジオとして演奏されます。

アルペジエータの設定：

パッドを使ってアルペジエータの設定をすることができます。それぞれのパッドの上にはアルペジエータのそれぞれのモードが印字されております。

[ARP MODE] ボタンを押したままにすることで、パッドが点灯し、現在のアルペジエータの設定が確認できます：

- ・ 設定可能なアルペジオ・タイプ：
 - ・ **Up**：ノートが一番下から一番上のノートに向けて発音します（上昇のみ）。
 - ・ **Down**：ノートが一番上から一番下のノートに向けて発音します（下降のみ）。
 - ・ **Incl (Inclusive)**：ノートが一番下から一番上へ向けて発音した後、再度一番上のノートから折り返し一番下まで発音を繰り返します（上昇折り返し + 最上下音の最発音有り）。
 - ・ **Excl (Exclusive)**：ノートが一番下から一番上へ向けて発音した後、そのまま折り返しを繰り返します（上昇折り返し + 最上下音の再発音無し）。
 - ・ **Random**：押えているノートをランダムな順番で発音します。
 - ・ **Chord**：押えているノートをコードとして発音します。
 - ・ **Note Double**：それぞれのノートを二回ずつ発音します。アルペジオ・タイプで Chord 以外で選択することができます。
 - ・ **Pattern**：パターンを使う場合にパッドを点灯させて有効にします。詳細につきましては EDIT MODE のアルペジエータの章をご覧ください。

アルペジエータの設定には Gate、SWING、PATTERN などの設定もございます。詳細につきましては EDIT MODE のアルペジエータの章をご覧ください。

シーケンサ

本機にはパワフルな内蔵シーケンサが装備されております。このシーケンサはビンテージ・スタイルのステップシーケンサとなっており、各ステップ（1～32ステップ）ごとに「ピッチ（ノート）」と「ベロシティ」を設定することができます。このステップシーケンサのシーケンスはプログラムごとに4つ保持しておくことが可能。それらの4つのシーケンスはドラムパッドを使って、リアルタイムに切り替えていくことができます。これからの章でこのシーケンサの使い方について記述となります。

プログラム・モード

シーケンサ・エディットモードに入ることで、(1) シーケンス個別ごと、(2) シーケンサ全般のセッティングが行えます。EDIT MODE の章とシーケンサのサブの章をご参照ください。

ここでは次のようなシーケンス個別のセッティングが行えます（4 シーケンス/プログラム）。：シーケンスのステップ数、MIDI チャンネル、MIDI to DIN 設定、キーシフト（Keyshift）、デフォルト キー（Default Key）、スケール（Scale）。またシーケンサのスタート/ストップ設定があり、これは4つのシーケンス共通となります。

TEMPO と TIME DIVISION の設定については、EDIT MODE の章の TEMPO についてをご覧ください。

- ・ **Tempo** : [TAP TEMPO] ボタンをタップして、好みのテンポに合わせます。本機の MIDI クロックソース設定が Internal になっている場合にのみ有効です。もし External になっている場合は DAW もしくは外部 MIDI 機器側のテンポを調整してください。
- ・ **Time Division** : [TIME DIV] ボタンを押して、S スイッチを使ってスイッチ下に印字されている Time Division の値を選択します。

シーケンスの作成と再生

シーケンサの動作 :

- ・ 各タッチフェーダと S スイッチはシーケンスのそれぞれのステップの状態を表示します。
- ・ シーケンスをプレイすると、各ステップ毎の S スイッチがグリーンに点灯している場所を再生しながら、左側から順にステップの S スイッチがオレンジに点灯しノートが発音されます。但し、S スイッチが消灯している場所は休符となり、そのステップは発音されず、通過時はレッドに点灯します。
- ・ ステップ数が 4 以上のシーケンスの場合、4 以上のステップを表示させるには BANK ボタンを使って表示範囲の変更を行います。

シーケンスの作成 :

1. シーケンサ・セッティングの設定を行います (前の章に記述しております)。
2. ステップ毎にノートとベロシティをセットします :
 - ・ [SEQ SELECT] ボタンを点灯させて、[EDIT] ボタンを押してから、[SEQ NOTE] を押しします。LCD には各ステップの番号、ノート、ベロシティが表示されます (カーソルボタンを操作して、各ステップのパラメータにあわせて、VALUE ダイアルで値の変更を行うこともできます)。
 - ・ **ノートのセット** : [SEQ NOTE] ボタンを点灯させて、タッチフェーダを使って各ステップのノートをセットすることができます。(±1 オクターブ、2 オクターブレンジ)
 - ・ **Tie (タイ)** : タイをステップに設定することもできます。タイを設定した手前ステップのノートが継続して発音します。カーソルをノートに合わせて VALUE ダイアルをノートを上げる方向へ回していくと「TIE」が表示され設定できます。
 - ・ **Rest** : Rest (レスト) は休符となり、ステップに設定することもできます。ステップのノートがない状態となります。S スイッチを押して消灯させて設定できます。また LCD のノートは「---」の表示となります。

シーケンスの再生 :

1. シーケンサへのシーケンスの選択は二通りの操作方法があります :
 - ・ ドラムパッドの PAD1 ~ 4 の上には、SEQ (シーケンス) 1 ~ 4 が印字されており、[SEQ SELECT] ボタンを押している間、現在読み込まれているシーケンスのパッドが点灯します。また [SEQ SELECT] ボタンを押しながら、これらのパッドを押すことでシーケンスの選択が行われます。
 - ・ [PROGRAM] ボタンを押して、カーソル下ボタンを使って Sequence フィールドにカーソルを合わせます。VALUE ダイアルでシーケンス番号を変更することでシーケンスの選択が行われます。
2. シーケンスの選択を行ったら、[SEQ SELECT] ボタンが点灯しているか確認します。もし点灯していなかった場合、押して点灯させます。
3. [ON/OFF] ボタンを押すとシーケンスの再生が始まります。

Note : シーケンスの再生を [ON/OFF] ボタン以外で行うこともできます。例えば、トランスポート・コントロールの PLAY / STOP ボタンやキーボードで行えます。詳しくはエディットの章のシーケンサの項目をご覧ください。

Vyrex EDITOR

本製品付属の Vyrex ソフトウェアを使用することで、様々なパラメータのエディットを本機と USB 接続をしているコンピュータ側から行うことができます。4 つの各モードの各種設定はもちろん、プログラムの調整を簡単に直感的に行うことができます。

AKAI CONNECT

本製品付属の AKAI CONNECT ソフトウェアを使用することで、DAW に立ち上げた VST プラグインのパラメータをコントロールすることが可能になります。VST プラグインのパラメータは自動的にマップされますが、必要に応じてカスタマイズも行えます。またカスタマイズしたマップ情報も保存しておくことができます。

AKAI CONNECT を使う：

1. コンピュータに MAX25 を接続します。
2. AKAI CONNECT を起動します。
3. **Plug-In Wrapping** タブをクリックします。
4. ウィンドウの左上の **Select** をクリックします。
5. VST プラグインの保存されているフォルダを選択し **OK** をクリックします。
6. 使用可能な VST プラグインがリストとなって表示されます。ご使用の DAW 上で MAX25 と使用したい VST プラグインに対して **Wrapped** の項目をクリックして **Yes** を設定します（AKAI CONNECT はそのまま開いておきます）。
7. DAW ソフトウェアを起動します。
8. DAW 上で VST プラグインのリストを開きます。AKAI CONNECT で Wrapped に Yes を設定した VST プラグインには「**[AC]**」が付加されて表示されます。その「**[AC]**」が付加された VST プラグインを選択します（AKAI CONNECT はそのまま開いておきます）。
9. 任意で設定：AKAI CONNECT ウィンドウの **Control Mapping** タブをクリックすることで、各フェーダーと S スイッチに対して、立ち上げた VST プラグインの各パラメータが自動的に表示されます。各パラメータはプルダウンメニューとして、他のパラメータを自由にセットすることが可能です。もしマップした状態を保存したい場合は「Save Map」をクリックして行います。

CV

MAX25 の CV OUT の仕様は 0 ~ 5V で 1V / オクターブとなっております。従って CV によって 5 オクターブの範囲となります。

外部 CV 音源モジュールと使用する際は以下の点をご確認ください：

- ・ CV 音源モジュールの CV 仕様が MAX25 と同じであること。
- ・ 接続には 1/4" TS フォーン・ケーブルをご使用ください。
- ・ 正しいチャンネルで CV/Gate への送信が行っているか確認してください。この点についての詳細に関しては **GLOBAL MODE** の CV/Gate の説明をご覧ください。

コンピュータと CV 音源モジュールを MAX25 と接続してご使用になられる場合、以下の点をご確認ください：

- ・ コンピュータと USB 接続する前に、付属 AC アダプタを MAX25 に接続してください。
- ・ コンピュータから CV 音源モジュールへ送信したい演奏情報の MIDI チャンネルが CV/Gate Out の MIDI チャンネルと同じ設定を行ってください（例：DAW 側から MAX25 の USB Port A の MIDI チャンネル 3 へ送信している場合は、本機の CV/Gate の MIDI チャンネルは「USB A3」に設定します）。この点についての詳細に関しては **GLOBAL MODE** の CV/Gate の説明をご覧ください。

付録
モード・パラメータ
エディット・モード

パラメータの編集は、[EDIT] ボタンを押してから、編集を行いたいコントローラを操作することで行えます。

CONTROL	PARAMETER	SETTINGS
[PROGRAM]	Text (Program name)	9 characters
KEYBOARD	MIDI Channel Octave Transpose MIDI to DIN Aftertouch	Common, USB A1-A16, USB B1-B16 -3 to +3 -36 to +36 On / Off On / Off
PADS	Type MIDI Channel Pitch Aftertouch Note Mode Type MIDI Channel Program Number Type MIDI Channel Pgm Msb Lsb MIDI to DIN	Note Common, USB A1-A16, USB B1-B16 Note Off, Channel Aftertouch, Poly Aftertouch Latched / Momentary Program Change Common, USB A1-A16, USB B1-B16 000-127 Program Bank Common, USB A1-A16, USB B1-B16 000-127 000-127 000-127 On / Off
TOUCH FADERS	Type MIDI Channel CC Number Min (Aftertouch value) Max (Aftertouch value) MIDI to DIN Mode Type MIDI Channel Msb Lsb Value MIDI to DIN Type MIDI Channel CC Number MIDI to DIN Type MIDI Channel Min (Aftertouch value) Max (Aftertouch value) MIDI to DIN Type Value MIDI to DIN Mode	MIDI CC Common, USB A1-A16, USB B1-B16 0-127 0-127 0-127 On / Off Absolute, Relative, Relative2 Inc/Dec 1 Common, USB A1-A16, USB B1-B16 000-127 000-127 000-127 On / Off Inc/Dec 2 Common, USB A1-A16, USB B1-B16 0-127 On / Off Aftertouch Common, USB A1-A16, USB B1-B16 0-127 0-127 On / Off Mackie, HUI Fader 1-8, V-pot 1-8, Master Level On / Off Relative, Relative2

FOOTSWITCH 1	Type MIDI Channel Mode MIDI to DIN	CC #000-127 Common, USB A1-A16, USB B1-B16 Momentary / Latched On / Off
	Type MIDI Channel MIDI to DIN	Tap tempo, Arp/Seq On/Off, Play, Rec, Stop, Play/Stop, Sustain Common, USB A1-A16, USB B1-B16 On / Off
EXPRESSION PEDAL	MIDI CC MIDI Channel Max Min MIDI to DIN	000-127, Aftertouch Common, USB A1-A16, USB B1-B16 000-127 000-127 On / Off
SEQUENCER • [SEQ SELECT] • [SEQ ON/OFF] • MODE ► SEQ NOTE • MODE ► SEQ CC	Steps MIDI Channel MIDI to DIN Keyshift Default Key Scale Start Stop	01-16 Common, USB A1-A16, USB B1-B16 On / Off On / Off C4 Chromatic, Major, Dorian, Phrygian, Lydian, Mixolydian, Minor, Locrian, Minor Melo (Melodic Minor), Minor Harm (Harmonic Minor), PentaMajor (Major Pentatonic), PentaMinor (Minor Pentatonic), Blues, AlteredDom (Altered Dominant), DimWhlHalf (Diminished Whole-Half-Step), and Whole-Tone Note On, Seq On/Off, Play Note Off, Seq On/Off, Stop

グローバル・モード

PAGE	PARAMETER	SETTINGS
MIDI CHANNELS	Common Channel Input Channel	Common, USB A1-A16, USB B1-B16 Common, USB A1-A16, USB B1-B16
NOTE DISPLAY	Type	Value, Number
KEYBOARD	Curve Sensitivity	Linear, EXP1, EXP2 1-10
PADS	Pad Threshold Velocity Curve Velocity Sense (Sensitivity)	0-15 Linear, EXP1, EXP2, Log1, Log2 1-10
TEMPO	Tempo (BPM) Tap Average Tempo LED	30 – 300 2-4 On, Off
CLOCK	Source	Internal, External
CV/GATE	CV/Gate Out	Key/Seq, Pads, Common Channel, USB1A – 16A, 1B – 16B, Sequencer Note, Sequencer CC, Pitch Bend Wheel, Modulation Wheel, Expression Pedal, Fader CC 1-8
SYSEX	Send Program	Program 1 – ____, ALL
UTILITIES	Contrast	0 – 99
SAVE GLOBALS		Press VALUE DIAL to save Global Settings.
OS	Version/Boot ROM Run Mode	Current operating systems. On, LowPower

プログラムチェンジ・モード

CONTROL	PARAMETER	SETTINGS
[PROG CHANGE]	<u>Program Change</u> Program Number MIDI Channel MIDI to DIN	000-127 Common, USB A1-A16, USB B1-B16 On / Off
	<u>Program Bank</u> Program Number MIDI Channel Msb Lsb MIDI to DIN	000-127 Common, USB A1-A16, USB B1-B16 000-127 000-127 On / Off

MIDIインプリメンテーション・チャート

USBポート A & B

	Transmit/Export	Recognize/Import	Remarks
1. BASIC INFORMATION			
MIDI channels	1-16	1-16	
Note numbers	1-127	1-127	
Program change	1-127	1-33	
Bank Select response? (Yes/No) If yes, list banks utilized in remarks column		No	
Modes supported: Mode 1: Omni-On, Poly (Yes/No) Mode 2: Omni-On, Mono (Yes/No) Mode 3: Omni-Off, Poly (Yes/No) Mode 4: Omni-Off, Mono (Yes/No) Multi Mode (Yes/No)		No	
Note-On Velocity (Yes/No)	Yes	No	
Note-Off Velocity (Yes/No)	No	No	
Channel Aftertouch (Yes/No)	Yes	No	
Poly (Key) Aftertouch (Yes/No)	Yes	No	
Pitch Bend (Yes/No)	Yes	No	
MIDI CC (Yes/No)	Yes	Yes	
Active Sensing (Yes/No)	No	No	
System Reset (Yes/No)	No	No	
Tune Request (Yes/No)	No	No	
Universal System Exclusive: Sample Dump Standard (Yes/No) Device Inquiry (Yes/No) File Dump (Yes/No) MIDI Tuning (Yes/No) Master Volume (Yes/No) Master Balance (Yes/No) Notation Information (Yes/No) Turn GM1 System On (Yes/No) Turn GM2 System On (Yes/No) Turn GM System Off (Yes/No) DLS-1 (Yes/No) File Reference (Yes/No) Controller Destination (Yes/No) Key-based Instrument Ctrl (Yes/No) Master Fine/Coarse Tune (Yes/No) Other Universal System Exclusive	Device Inquiry	Device Inquiry	
Manufacturer or Non-Commercial System Exclusive	No	No	
NRPNs (Yes/No)	Yes	No	
RPN 00 (Pitch Bend Sensitivity) (Yes/No) RPN 01 (Channel Fine Tune) (Yes/No) RPN 02 (Channel Coarse Tune) (Yes/No) RPN 03 (Tuning Program Select) (Yes/No) RPN 04 (Tuning Bank Select) (Yes/No) RPN 05 (Modulation Depth Range) (Yes/No)	No	No	
2. MIDI TIMING AND SYNCHRONIZATION			
MIDI Clock (Yes/No)	Yes	Yes	
Song Position Pointer (Yes/No)	Yes	Yes	
Song Select (Yes/No)	No	No	
Start (Yes/No) Continue (Yes/No) Stop (Yes/No)	Yes	Yes	
MIDI Time Code (Yes/No)	No	No	
MIDI Machine Control (Yes/No)	Yes	No	
MIDI Show Control (Yes/No) If yes, MSC Level supported	No	No	
3. EXTENSIONS COMPATIBILITY			
General MIDI compatible? (Level(s)/No) Is GM default power-up mode? (Level/No)	No	No	
DLS compatible? (Levels(s)/No) (DLS File Type(s)/No)	No	No	
Standard MIDI Files (Type(s)/No)	No	No	
XMF Files (Type(s)/No)	No	No	
SP-MIDI compatible? (Yes/No)	No	No	

USBポート C(MIDI)

	Transmit/Export	Recognize/Import	Remarks
1. BASIC INFORMATION			
MIDI channels	1-16	1-16	
Note numbers	1-127	1-127	
Program change	1-127	1-127	
Bank Select response? (Yes/No) If yes, list banks utilized in remarks column		No	
Modes supported: Mode 1: Omni-On, Poly (Yes/No) Mode 2: Omni-On, Mono (Yes/No) Mode 3: Omni-Off, Poly (Yes/No) Mode 4: Omni-Off, Mono (Yes/No) Multi Mode (Yes/No)		No	
Note-On Velocity (Yes/No)	Yes	Yes	
Note-Off Velocity (Yes/No)	No	No	
Channel Aftertouch (Yes/No)	Yes	Yes	
Poly (Key) Aftertouch (Yes/No)	Yes	Yes	
Pitch Bend (Yes/No)	Yes	Yes	
MIDI CC (Yes/No)	Yes	Yes	
Active Sensing (Yes/No)	No	No	
System Reset (Yes/No)	No	No	
Tune Request (Yes/No)	No	No	
Universal System Exclusive: Sample Dump Standard (Yes/No) Device Inquiry (Yes/No) File Dump (Yes/No) MIDI Tuning (Yes/No) Master Volume (Yes/No) Master Balance (Yes/No) Notation Information (Yes/No) Turn GM1 System On (Yes/No) Turn GM2 System On (Yes/No) Turn GM System Off (Yes/No) DLS-1 (Yes/No) File Reference (Yes/No) Controller Destination (Yes/No) Key-based Instrument Ctrl (Yes/No) Master Fine/Coarse Tune (Yes/No) Other Universal System Exclusive	Device Inquiry	Device Inquiry	
Manufacturer or Non-Commercial System Exclusive	No	No	
NRPNs (Yes/No)	No	No	
RPN 00 (Pitch Bend Sensitivity) (Yes/No) RPN 01 (Channel Fine Tune) (Yes/No) RPN 02 (Channel Coarse Tune) (Yes/No) RPN 03 (Tuning Program Select) (Yes/No) RPN 04 (Tuning Bank Select) (Yes/No) RPN 05 (Modulation Depth Range) (Yes/No)	No	No	
2. MIDI TIMING AND SYNCHRONIZATION			
MIDI Clock (Yes/No)	No	No	
Song Position Pointer (Yes/No)	No	No	
Song Select (Yes/No)	No	No	
Start (Yes/No) Continue (Yes/No) Stop (Yes/No)	No	No	
MIDI Time Code (Yes/No)	No	No	
MIDI Machine Control (Yes/No)	No	No	
MIDI Show Control (Yes/No) If yes, MSC Level supported	No	No	
3. EXTENSIONS COMPATIBILITY			
General MIDI compatible? (Level(s)/No) Is GM default power-up mode? (Level/No)	No	No	
DLS compatible? (Levels(s)/No) (DLS File Type(s)/No)	No	No	
Standard MIDI Files (Type(s)/No)	No	No	
XMF Files (Type(s)/No)	No	No	
SP-MIDI compatible? (Yes/No)	No	No	

USBポート D(Mackie Control)

	Transmit/Export	Recognize/Import	Remarks
1. BASIC INFORMATION			
MIDI channels	1	1	
Note numbers			As used by protocol
Program change			
Bank Select response? (Yes/No) If yes, list banks utilized in remarks column		No	
Modes supported: Mode 1: Omni-On, Poly (Yes/No) Mode 2: Omni-On, Mono (Yes/No) Mode 3: Omni-Off, Poly (Yes/No) Mode 4: Omni-Off, Mono (Yes/No) Multi Mode (Yes/No)		No	
Note-On Velocity (Yes/No)	No	No	
Note-Off Velocity (Yes/No)	No	No	
Channel Aftertouch (Yes/No)	No	No	
Poly (Key) Aftertouch (Yes/No)	No	No	
Pitch Bend (Yes/No)	No	No	
MIDI CC (Yes/No)			As used by protocol
Active Sensing (Yes/No)	No	No	
System Reset (Yes/No)	No	No	
Tune Request (Yes/No)	No	No	
Universal System Exclusive: Sample Dump Standard (Yes/No) Device Inquiry (Yes/No) File Dump (Yes/No) MIDI Tuning (Yes/No) Master Volume (Yes/No) Master Balance (Yes/No) Notation Information (Yes/No) Turn GM1 System On (Yes/No) Turn GM2 System On (Yes/No) Turn GM System Off (Yes/No) DLS-1 (Yes/No) File Reference (Yes/No) Controller Destination (Yes/No) Key-based Instrument Ctrl (Yes/No) Master Fine/Coarse Tune (Yes/No) Other Universal System Exclusive	Device Inquiry	Device Inquiry	
Manufacturer or Non-Commercial System Exclusive	No	No	
NRPNs (Yes/No)	No	No	
RPN 00 (Pitch Bend Sensitivity) (Yes/No) RPN 01 (Channel Fine Tune) (Yes/No) RPN 02 (Channel Coarse Tune) (Yes/No) RPN 03 (Tuning Program Select) (Yes/No) RPN 04 (Tuning Bank Select) (Yes/No) RPN 05 (Modulation Depth Range) (Yes/No)	No	No	
2. MIDI TIMING AND SYNCHRONIZATION			
MIDI Clock (Yes/No)	No	No	
Song Position Pointer (Yes/No)	No	No	
Song Select (Yes/No)	No	No	
Start (Yes/No) Continue (Yes/No) Stop (Yes/No)	No	No	
MIDI Time Code (Yes/No)	No	No	
MIDI Machine Control (Yes/No)	No	No	
MIDI Show Control (Yes/No) If yes, MSC Level supported	No	No	
3. EXTENSIONS COMPATIBILITY			
General MIDI compatible? (Level(s)/No) Is GM default power-up mode? (Level/No)	No	No	
DLS compatible? (Levels(s)/No) (DLS File Type(s)/No)	No	No	
Standard MIDI Files (Type(s)/No)	No	No	
XMF Files (Type(s)/No)	No	No	
SP-MIDI compatible? (Yes/No)	No	No	

USBポート E(Remote)

	Transmit/Export	Recognize/Import	Remarks
1. BASIC INFORMATION			
MIDI channels	No	No	
Note numbers	No	No	
Program change	No	No	
Bank Select response? (Yes/No) If yes, list banks utilized in remarks column		No	
Modes supported: Mode 1: Omni-On, Poly (Yes/No) Mode 2: Omni-On, Mono (Yes/No) Mode 3: Omni-Off, Poly (Yes/No) Mode 4: Omni-Off, Mono (Yes/No) Multi Mode (Yes/No)		No	
Note-On Velocity (Yes/No)	No	No	
Note-Off Velocity (Yes/No)	No	No	
Channel Aftertouch (Yes/No)	No	No	
Poly (Key) Aftertouch (Yes/No)	No	No	
Pitch Bend (Yes/No)	No	No	
MIDI CC (Yes/No)	No	No	
Active Sensing (Yes/No)	No	No	
System Reset (Yes/No)	No	No	
Tune Request (Yes/No)	No	No	
Universal System Exclusive: Sample Dump Standard (Yes/No) Device Inquiry (Yes/No) File Dump (Yes/No) MIDI Tuning (Yes/No) Master Volume (Yes/No) Master Balance (Yes/No) Notation Information (Yes/No) Turn GM1 System On (Yes/No) Turn GM2 System On (Yes/No) Turn GM System Off (Yes/No) DLS-1 (Yes/No) File Reference (Yes/No) Controller Destination (Yes/No) Key-based Instrument Ctrl (Yes/No) Master Fine/Coarse Tune (Yes/No) Other Universal System Exclusive	Device Inquiry, Preset/Seq Dump, Parameters	Device Inquiry, Preset/Seq Dump, Parameters	
Manufacturer or Non-Commercial System Exclusive	Yes	Yes	
NRPns (Yes/No)	No	No	
RPN 00 (Pitch Bend Sensitivity) (Yes/No) RPN 01 (Channel Fine Tune) (Yes/No) RPN 02 (Channel Coarse Tune) (Yes/No) RPN 03 (Tuning Program Select) (Yes/No) RPN 04 (Tuning Bank Select) (Yes/No) RPN 05 (Modulation Depth Range) (Yes/No)	No	No	
2. MIDI TIMING AND SYNCHRONIZATION			
MIDI Clock (Yes/No)	No	No	
Song Position Pointer (Yes/No)	No	No	
Song Select (Yes/No)	No	No	
Start (Yes/No) Continue (Yes/No) Stop (Yes/No)	No	No	
MIDI Time Code (Yes/No)	No	No	
MIDI Machine Control (Yes/No)	No	No	
MIDI Show Control (Yes/No) If yes, MSC Level supported	No	No	
3. EXTENSIONS COMPATIBILITY			
General MIDI compatible? (Level(s)/No) Is GM default power-up mode? (Level/No)	No	No	
DLS compatible? (Levels(s)/No) (DLS File Type(s)/No)	No	No	
Standard MIDI Files (Type(s)/No)	No	No	
XMF Files (Type(s)/No)	No	No	
SP-MIDI compatible? (Yes/No)	No	No	

仕様

キーボード：	25 鍵（ベロシティ対応、オクターブ UP / DOWN ボタンにより 10 オクターブレレンジ）
パッド：	8（ベロシティ対応、4 バンク）
フェーダ：	4（タッチ・センシティブ、LED インジケータ内蔵 リボン型センサ、4 バンク）
スイッチ：	4（LED バックライト、4 バンク）
入出力端子：	USB port 1/4" TRS エクスプレッション・ペダル 1/4" TS フットスイッチ x2 1/4" TS Gate アウト 1/4" TS CV アウト 5-pin MIDI IN 5-pin MIDI OUT
電源：	USB バスパワー 付属電源アダプタ：6V DC、1A、（センタープラス）
サイズ（W x D x H）：	約 434 x 330 x 81.2mm
重量：	約 3.3kg

AKAI
professional

akai-pro.jp